



▲衣浦大橋の新橋が完成した
当時の広報たかはま
(昭和53年2月)



▲国道419号(衣浦豊田線)高浜
バイパス開通当時の広報たかはま
(平成4年3月)



まちをつなぐ道

高浜市の人口は、人口減少社会がさげばれているなか微増を続けている。そこには高浜市の住みやすさと同時に勤務地などへの道路交通の便のよさがあるのかもしれない。

産業・経済の大動脈として地域の発展に貢献している一般国道419号(衣浦豊田線)高浜バイパスが開通したのは平成4年2月のこと。岐阜県瑞浪市を起点とし、豊田市を経て高浜市に至る主要幹線道路の一部として、名鉄三河線と県道名古屋碧南線をまたぐ蛇抜大橋高架橋が完成した。平成元年には、起点と終点という間柄が取りもつ縁で瑞浪市と姉妹都市締結も行われた。現在も幹線道路ということもあり、商業施設などロードサイド店が立ちならび市内外の人を呼び込んでいる。

また市の西側には、高浜市と半田市を繋ぐ衣浦大橋がある(本連載12回参照)。完成当時「夢のかけ橋」と呼ばれたこの橋は、西三河地方と知多地方を結ぶ交通の要として、昭和31年に建設された。その後交通量の増加から、愛知県が渋滞の緩和対策として昭和53年2月に、従来の橋の下流側半田方面行きの新橋を開通させ、現在もこの地域の生活・経済活動を支えている。

今年3月下旬には一般国道419号の「高浜高架橋」(衣浦大橋東交差点高架部)が開通予定である。

“撮っておき” の たかはま

【第99回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、
有形・無形を問わず、
高浜市の日常の暮らしの中にある
とっておきの「お宝」を紹介します。

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月の「めざす学習習慣」をこのコーナーで紹介していきます。

2月〈学習習慣 ～前向きに取り組む子～〉

〈めざす年長児〉いろいろなことにきょうみ・かんしんをもち、やってみます。

〈めざす小6生〉友達の考えを大切に、自分の意見をわかりやすく伝えます。

〈めざす中3生〉友達に考えを聞いて、自分の考えに生かします。

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

いきいき広場内教育センターグループ ☎52-1111 (内線311)



LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は17ページ

早期配布にご協力ください。